六甲山スノーパーク

アクセス抜群のスキー場

六甲山スノーパーク（神戸市灘区）は、六甲山にある人工スキー場。神戸・三宮から車で約35分、ケーブルカーやバスを利用することも可能で、市街地からのアクセスは抜群だ。

今シーズンは昨年11月14日に関西で最も早くオープンし、３月９日まで無休で営業する。

滑りを楽しむ来場者＝神戸市灘区六甲山町

人工雪でできた全長260㍍のスキーゲレンデは傾斜も緩く、初心者の練習や、熟練者の足慣らしには最適。ジャンプ台やボックスを設置し、スキーヤー・スノーボーダーにはうれしいボードパークは、土日祝のナイターでオープンする。

家族向けのスノーランドでは、雪ゾリや雪だるま作りなどの雪遊びが楽しめる。スキー、スノーボードのゲレンデとは離れているため、小さな子どもも安心して遊ぶことができる。

例年好評を得ている３～６歳の未就学児向けスキースクール「スノイルキッズスクール」に、家族向けの新プラン「ファミリーレッスン」が登場。これまで見守るだけだった保護者も一緒に教えてもらえる。家族単位でレッスンを受けられるため、他者との接触も少なく安心して利用できる。

小学生や中学生以上を対象にした各種スキー＆スノーボードスクールも開講中。ウェアなどのレンタル品は身長90㌢用から５Ｌまで幅広くサイズをそろえる。

お腹が空いたらレストラン「アルペンローゼ」へ。ゲレンデ飯の定番・カレーライスや、ＳＮＳ映えする六甲山山盛りローストビーフ丼など、冷えた身体が温まるおいしいメニューが盛りだくさんだ。

コロナ禍の中、手指のアルコール消毒、レンタルウェアの乾燥殺菌など感染症対策を徹底している。また、設定した園内キャパシティーを超えた場合は入場制限する場合がある。

同施設☎078・891・0366

雪遊びも楽しめる

SNS映えする六甲山山盛りローストビーフ丼

サイズや色などを幅広くそろえたスキーウェア

4月からは衣替え

アスレチック施設「グリーニア」開業

４月３日からはスノーパークがアスレチックパークに衣替え。六甲山カンツリーハウス、六甲山フィールド・アスレチック、フォレストアドベンチャー・神戸六甲山が合体した日本最大級のアスレチック施設「六甲山アスレチックパーク　ＧＲＥＥＮＩＡ（グリーニア）」がオープンする。

既存のアスレチックに加え、大人気動画クリエイター「フィッシャーズ」が監修するアスレチックを新設。大人も子どもも楽しめる。

六甲大学
ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。　（毎月第４火曜日に掲載します）

根岸真理が案内　山の四季便り

厳冬が織り成す芸術

北斜面に「氷瀑」が出現

六甲山北斜面の紅葉谷付近にある「七曲滝」が氷結（１月13日撮影）

今シーズンは強い寒波の度重なる襲来により冬らしい冬を迎えており、六甲山では暖冬続きだった近年とは一変し、珍しい景色が見られた。

厳しい冷え込みとなった12日には神戸の市街地でも積雪があった。須磨の山に登っていた筆者は、標高わずか234㍍の鉄拐山で、山頂部が真っ白になっているのを見て驚いた。

近年は温暖化の影響か、滝が凍ることも珍しくなっているが、今年は滝が真っ白に氷結する「氷瀑」が出現。全体ではないものの大部分が凍った、大自然が織り成す神秘的な〝氷の芸術〟には感動を覚えずにはいられない。

六甲山の北麓、有馬温泉と山上部の間に「有馬四十八滝」と呼ばれる滝が点在。これらが凍ると、南斜面の「ロックガーデン」に対して、「アイスガーデン」と呼ばれる。四半世紀ほど前にはアイスクライミングを楽しんだことを思い出したが、最近は完全結氷することがめったにない。

穂高湖をはじめとする山上の池も氷が張っており、かつて六甲山上でアイススケートが盛んだった時代があったエピソードを思い出した。気象条件によっては、大気中の水分が凝結して木々を白く染める「霧氷」ができる。

今後も、まだまだ寒さが厳しい季節。出掛けるのがおっくうになりがちだが、身近で「雪山体験」ができる六甲山で、雪や氷に触れてみてはいかがだろうか？

ただし、服装には十分な注意が必要だ。山上の登山道を歩くのならば、積雪を想定して防水性のある靴を選び、「チェーンスパイク」やアイゼンなどの滑り止め器具、トレッキングポールなどを携行しよう。気温もかなり低いので、防寒着のほか、手袋や耳を覆うことができる帽子などもお忘れなく。

車道が凍結したり、急に雪が積もったりしてノーマルタイヤでは走れなくなることがある。山上へのアクセスは六甲ケーブルなどを利用するのがお勧めだ。

なお、まやビューラインは３月５日まで定期点検のため運休している。六甲有馬ロープウェーも２月12日～３月５日運休する予定。

鉄拐山では雪景色

鉄拐山は数年前に景観伐採が行われ、眺望抜群になった（１月12日撮影）

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう！」など。

芸術学部

◆声優×六甲オルゴールミュージアム朗読劇「月色のオルゴールを探して」　前期２月14日まで、後期２月15日～３月21日10時５分、12、14、16時（各回約30分間）、六甲オルゴールミュージアム（六甲ケーブル「六甲山上駅」から六甲山上バス「オルゴールミュージアム前」）。声優の杉田智和さん、小野友樹さんが朗読する（録音音声）＝**イメージ写真**。オリジナル脚本にアンティーク・オルゴールなどの自動演奏楽器の生演奏を交え上演する。声優本人の出演はなし。各回70人。申し込み不要。無料（別途入園料1050円、４歳～小学生530円）。休館日あり。六甲オルゴールミュージアム☎078・891・1284

総合学部

◆おやこバードウォッチング　２月21日９時半～12時、神戸市立森林植物園（神鉄「北鈴蘭台」駅から無料送迎バス）。小学生以上の子どもとその保護者合わせて30人。日本野鳥の会ひょうごのスタッフが講師を務める。飲み物、雨具、あれば双眼鏡、防寒着など持参。要予約。無料（別途入園料300円、小・中学生150円）。同園☎078・591・0253

環境学部

◆冬芽観察会　２月11日10時半～12時、神戸市立森林植物園（神鉄「北鈴蘭台」駅から無料送迎バス）。オニグルミやクロモジなどの今の季節に見られる冬芽を観察する＝**写真は過去の様子**。無料（別途入園料高校生以上300円、小・中学生150円）。先着50人。要予約。同園☎078・591・0253

◆六甲山ビジターセンター環境学習プログラム「六甲山と街の違いを探ろう」　２月14日10～14時、六甲山ビジターセンター（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「記念碑台」）。生き物たちの冬ごもりの様子、春に向かっての準備など街中と違う自然を見つける探検をする＝**写真は過去の様子**。自然の材料を使った工作でお土産も作る。無料。先着30人。１月31日までに申し込む。六甲山自然案内人の会の田丸さん☎090・6754・0369（19～21時）

新型コロナ対策などで、イベントの中止や内容の変更が生じる可能性があります。事前にお問い合わせください。ホームページhttp://653daigaku.com/

六甲大学
ROKKO-SAN DAIGAKU
六甲山大学・情報凝縮サイト
653daigaku.com
わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています
協賛企業
ひとのときを、想う。JT
Daiwa House
想いをかたちに 未来へつなぐ TAKENAKA
順不同
【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸観光局　神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　E-MAIL:info-653@kobe-np.co.jp